

令和2年度 フロンティア科「出前講座」

1 日 時 令和2年6月19日(金) 13:50~15:50(120分)

2 講 師 宮崎交通

3 演 題 宮崎交通から見た宮崎の観光

4 感想

1年H組 清水 菜摘

私は、この講座を聞いて、自分はまだまだ宮崎のことを知らなかったなと思いました。宮崎の魅力が多くの人に伝えられるように、もっともっと宮崎のことに興味を持つようにしたいと思いました。今回の講話では宮崎交通の創立者の岩切章太郎さんについて知ることができました。岩切さんがフェニックスを植えたということを初めて知りました。「何かよそにはないようなものを作り出さないことには人は来てくれない」という考えで宮崎に南国のイメージをつくり出したと聞いて、今の宮崎が南国で全国に広まっているのは岩切さんのおかげなのだと思いました。自然の美に手を加え、さらによくする人口の美、お客様に対する心遣い、この3つの美があって本当によい観光地ができるということで宮崎を作ってくれた人なのだと思いました。また、宮崎の美しい景観を生かすホテル、子どものくになど宮崎の人々、お客様に寄り添った観光地を今に多く残してくれた人なのだを知ることができました。その岩切章太郎さんの理念を宮交グループの方々が受け継いで宮崎の活性化に努めて下さっていると分かりました。宮崎の発展のために頑張ってくださいっている方々に感謝しながら私自身も宮崎の良さを広められるような人になりたいと思いました。

1年I組 岩下 隼翔

岩切章太郎という人物は宮崎を全国の人に知ってもらうために尽力した人である。岩切の理念、「大地に絵を描く」という言葉に心が惹かれた。宮崎がまだ観光客が少なく、静かな街だったところに岩切が動き出し、宮崎が全国で有名になっていったというある程度のエピソードは知っていた。しかし、物語は意味が深い話だった。「宮崎には南国のイメージがある」といって、たくさんのフェニックスを植えるのは、大地に絵を描く、つまり宮崎という大地に花や木を植えてよりよくしていこうということであった。一つひとつの言葉に重みを感じた。次に宮交グループについて、この会社は岩切の理念を引き継ぎ、サービスと心づかい「まず、にっこり」という言葉がバスの車内に書いているのを見たことがある。運転士さんは、いつも挨拶してくれたり、優しいアナウンスだったり、運転も乗客を思いやり滑らかな発進、ブレーキをしてくれる。このサービス精神があるからこそ、宮交グループが長年続けられてきたのだと思う。仕事はサービス精神が一番であることを知ることができた。

